

## 株式会社ガット 外部研究機関との共同研究第3弾 “苔”に関する井藤賀操氏との共同研究

- ◆テーマ名： 『廃校プールを活用した苔の栽培とその商品開発』
- ◆共同研究期間：令和3年4月1日から令和5年3月31日
- ◆共同研究者： 井藤賀 操氏（株式会社ジャパンモスファクトリー代表）
- ◆共同研究概要：以下、これまでに検討してきた内容を簡単に紹介します。

### （1）苔との出会い

当社と苔との出会いですが、令和3年2月6日に開催された『第3回岡山テックプランングランプリ※』において、上記の井藤賀氏が基調講演とパネルディスカッションをされ、その際に苔の可能性について熱く語られたのが始まりでした。

※『岡山テックプランングランプリ』とは、株式会社リバネス（本社：東京都新宿区、代表取締役 CEO：丸幸弘氏）が主催するビジネスマッチングコンテストで岡山から科学技術や地域資源を活かしたイノベーションを巻き起こす新たな産業の創出を目指し2018年度から開催され、今回で3回目を迎えました。



### （2）苔に関する勉強会

その出会いを切っ掛けに井藤賀氏に連絡を取り、苔の勉強会を2月19日（リモート会議）と3月27日（当社）の2回実施しました。そこで、商品開発に向けた可能性と課題が確認されました。

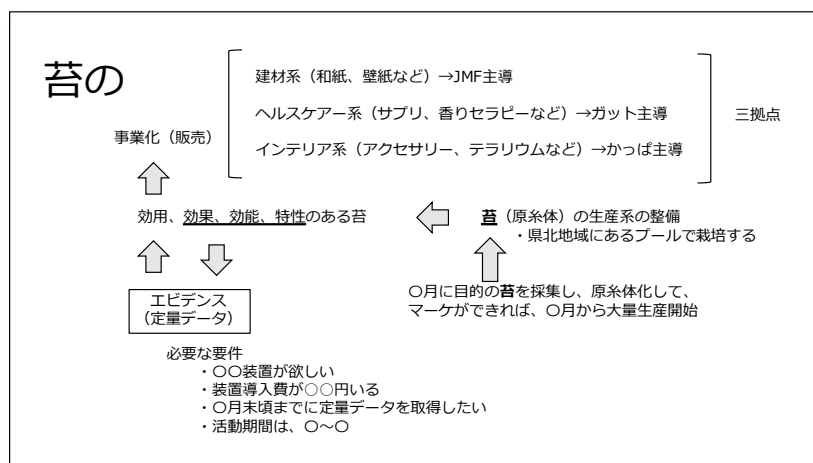
・苔（原系体）が県北地域にあるプールで栽培可能であるが気温、水温等の環境確認が必要となる。

・事業化（出口）に有効となる効果、効能、特性が明確にされていないため、検討が必要である。

・苔の各種効果、効能、特性に対するエビデンス（定量データ）は事業の重要な拠り所となるため、物理特性の特定と測定方法の検討を進める。

・苔商品や事業の対象候補としては、建材系（和紙、壁紙等）、ヘルスケア系（サプリメント、香りセラピー等）、インテリア系（アクセサリ、テラリウム等）を中心に検討する。

・今後、当社でも苔の原系体を手入れし、苔の栽培を経験すると共に、栽培に適した場所（廃校のプール等）を探す。



### (3) 県北産苔の採取

勉強会で日本において自生する苔は約 2000 種類ほどもあることを学び、是非、岡山県北産の原系体を元に苔を栽培し、商品を開発し、ブランドに育てて行きたいとの思いが芽生え、井藤賀氏の協力を得て、6月28日と29日に県北地域において苔の採取を実施し、試験栽培を開始しました。

#### <苔採取風景>



苔生した岩の上に登り苔を観察



谷合の湿地に入り苔を採取



胞子体（黄色）が成長している苔



胞子体と茎葉体のセットで保管

#### (4) 苔の栽培候補地の検討

また、並行して苔を栽培するための候補地の選定にも入り、県北にある廃校となった小学校のプールなどの調査を開始しました。

##### <苔栽培候補プール>

旧津山市立阿波小学校プール

大きさ：縦 25m、横 10m

深さ： 水深 1.0m



#### (5) 事業展開

苔事業の展開戦略としては、先ず短期的には、インテリア・アクセサリ分野と園芸・環境（緑化）分野に進出し、業界での足場を固め、次いで中期的には建材分野における新製品の開発を進めると共に、長期的には安全分野における重金属回収事業やサプリメントなどへの応用によるヘルスケア事業へと事業拡大を図って行きたいと考えます。

